



(広報資料)



上下水道局マスコットキャラクター  
ホテルの澄都(すみと)くん、ひかりちゃん

京都市内南部エリアの事業・防災拠点の整備に向けた「基本計画」を策定しました！

平成30年9月12日  
京都市上下水道局  
担当 総務部総務課  
電話 672-3133

## 「京都市上下水道局南部拠点整備事業基本計画」を策定しました！

京都市上下水道局では、平成30年3月に策定した「京都市上下水道事業経営ビジョン(2018-2027) 京(みやこ)の水ビジョンーあすをつくるー」に掲げている取組の一つとして、市内北部エリアを所管する太秦庁舎に引き続き、市内南部エリアを所管する事業・防災の拠点(南部拠点)の整備を行うこととしています。

この度、2022年度の開庁を目指す、南部拠点整備事業に係る基本計画を策定しましたので、お知らせします。

### 1 事業・防災拠点とは

市内に点在する水道・下水道の事業所や営業所等の窓口機能を集約することで、効果的・効率的に事業を進める体制を作り、あわせて、漏水や、地震・大雨等の大規模災害の発生時には、迅速な復旧対応に当たるとともに、他都市からの応援を受け入れる等、事業活動・災害対応の拠点となるものです。



### 2 事業・防災拠点の整備による効果

災害・事故への迅速対応	漏水や、地震・大雨等の災害に対する迅速な復旧対応を行う体制を整え、施設被害を早期に回復させ、市民生活への影響を最小限にとどめます。
サービスの向上	水道・下水道の事業所や営業所等の窓口機能を集約することで、お客さまや工事事業者等の皆さまが手続等を一箇所で済ませられるようになります。
事業推進とコスト削減	事業所等の再編・集約により、より効果的・効率的な事業推進が可能となります。維持管理費等のコスト削減、集約により使用しなくなった庁舎等の有効活用を図ります。

### 3 南部拠点整備事業基本計画について

この基本計画は、「京（みやこ）の水ビジョンーあすをつくるー」等の上位計画等を踏まえ、南部エリアの事業・防災拠点の整備に係る基本方針をはじめ、施設の機能や規模、施設計画等を取りまとめたものであり、今後の基本設計や事業運営の指針となるものです。

#### (1) 基本方針

上下水道局本庁舎及び市内南部に点在する事業所を集約することで、効果的・効率的な事業運営、災害発生時における危機管理体制及び経営基盤の強化を図ることとし、以下の4点を基本方針として定めます。

- 基本方針1 効果的・効率的な事業運営、サービスの向上を推進する庁舎
- 基本方針2 災害から、まちとくらしを守る庁舎
- 基本方針3 環境に配慮した、全ての人にやさしい庁舎
- 基本方針4 上下水道事業の継続を可能にする経営基盤を支える庁舎

#### (2) 計画地

市営地下鉄十条駅西側に位置する上下水道局元資器材・防災センター用地にて整備を行います。

○所在地

京都市南区上鳥羽鉾立町11-3

○面積

15,415.61㎡



#### (3) 施設規模

現況調査等を踏まえ、上下水道局で必要な施設規模を以下のとおりとしました。

延床面積	約16,700㎡
資器材倉庫	約2,400㎡
活動スペース	1,000㎡以上
駐車場	約200台
建築面積	約2,000㎡～約3,250㎡
敷地面積	約8,500㎡

#### (4) 施設計画

基本方針等に基づき、配慮すべき基本的性能を以下のとおりとしました。

##### 基本方針 1

- ・将来の変化への柔軟な対応と効果的・効率的な業務遂行が可能な執務室
- ・わかりやすく、利用しやすい庁舎

##### 基本方針 2

- ・災害時の拠点として業務を継続するための耐震性、耐火性、耐浸水性の確保
- ・災害時の拠点として機動的に活動するための機能の確保・充実

##### 基本方針 3

- ・環境設備・機能によるエネルギーの削減、周辺環境への配慮
- ・訪れる全ての人への配慮

##### 基本方針 4

- ・長寿命化や設備のランニングコストの低減を可能とする建物
- ・保有資産を有効活用することによる収入源の確保

#### (5) 南部拠点整備事業スケジュール（予定）

今後、整備内容の検討、設計、建設工事を実施し、2022年度の開庁を目指します。



「京都市上下水道局南部拠点整備事業基本計画」は、上下水道局ホームページで御覧いただけます。

(アドレス) <http://www.city.kyoto.lg.jp/suido/page/0000242430.html>